

## 第 112 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和 3 年 7 月 27 日 (火)
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
  - 委員総数 13 人
  - 出席委員数 7 人
  - 出席委員の氏名 (敬称略)
    - 小澤健一 / 風間まり子 / 佐藤正幸
    - 高橋徹 / 松田和也 / 吉井照雄
    - 吉村巳之
  - 欠席委員の氏名 (敬称略)
    - 相京恵 / 今井陽子 / 風間隆之
    - 清水一希 / 高井俊一郎 / 竹中隆
  - ラジオ高崎 4 人
    - 代表取締役社長 大山駿作
    - 執行役員専務 関口高史
    - 執行役員放送局長 田野内明美
    - 執行役員放送部長 吉良武夫
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
  - 特別番組「交通事故ゼロを目指して」 について
  - 番組全般について
  - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
  - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
  - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
  - ・ラジオ高崎放送 令和 3 年 8 月 8 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

(別紙) 議事の概要

- ・代表取締役社長大山駿作より挨拶。
- ・放送局長田野内明美より令和3年度新番組と放送済特別番組の紹介。

新番組

- 昼ワイド番組「ひる Color」
- 中古車情報生中継番組「ドライビングビジョン」
- ボランティア団体紹介番組「みらいのカケラ」
- 英語専門塾セプト提供番組「セプラジ」

特別番組

- キャッチ・ザ・ドリーム～ソフトボールシティ高崎
- 第9回榛名山ヒルクライム in 高崎 実況生中継
- 広げよう防犯の輪。～新たな特殊詐欺を未然に防ぐ～
- 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot vol.3 岡本侑也 無伴奏チェロリサイタル
- 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot vol.4 尾城杏奈 ピアノリサイタル
- 市長が語る。私と映画
- 交通事故ゼロを目指して

- ・事務局より審議対象特別番組「交通事故ゼロを目指して」の詳細説明。

高崎市緑町交差点の事故発生件数は全国ワースト10。他にも市内の幹線道路が交わる交差点で事故が多発している状況を踏まえて、交通安全啓発の放送を企画した。

群馬県条例の改正により自転車保険が義務化、ヘルメット着用が努力義務化されたことを踏まえた自転車利用時の安全啓発、市内で事故の多い交差点紹介を行った。

更に、高崎市内の信号機の数などを問うクイズも出題し、交通安全啓発の同番組を身近に感じてもらう工夫も取り入れた。

本放送 令和3年7月11日(日) 18:30～18:59

再放送 令和3年7月13日(火) 15:00～15:29

令和3年7月15日(木) 10:45～11:14

令和3年7月17日(土) 14:15～14:44

令和3年7月19日(月) 16:00～16:29

- ・OA素材の試聴
- ・番組説明とOA素材試聴のあと、他の既存番組等も含めて広く意見を求めた。

## 委員各位の意見

### 「特別番組 交通事故ゼロを目指して」について

- 交通安全啓発は継続して放送出来ると意識が高まるテーマ。よい取り組みだと思う。ゲストのサイクリスト日向涼子さんは、親の目線から自転車の安全利用や自転車用ヘルメット着用の重要性を話していて非常に聞きやすかった。番組内で、交通事故体験談の紹介があると説得力が増したのではないかな。
- だれに向けた放送なのかを明確にして、その対象リスナーが聞ける時間に放送することが重要。なお、サイクリストと自転車店スタッフのゲスト 2 人の話は、専門家のリアルな意見で聞きごたえがあった。
- 高崎市内で事故の多い交差点が具体的に紹介されていたので、リスナーの多くがその交差点を通る際には注意するだろう。「交通事故ゼロを目指して」というタイトルの意味するところはここだと思う。
- 自転車の死亡事故は頭部損傷が原因になっていることがほとんど。頭を守る重要性を強調する内容にして伝えるのも一つの方法だった。交通安全啓発放送は継続して欲しい。
- 高崎市でも自転車の通行ゾーンを示す青色や赤色の矢羽根のマークをよく見るようになった。それだけ事故が多いということ。自動車・自転車双方に交通ルールをしっかり守った安全運転を啓発するような放送を続けてもらいたい。
- 群馬県条例改正でヘルメット着用が努力義務となったのだから、この機にもっと長い時間を使ってヘルメットの様々な機能や安全性、スタイルなどを紹介してもよかった。
- 自転車利用時の安全啓発ということでは、ヘルメット以外にも紹介すべきことがある。特に子どもについては、肘や膝などのプロテクターとセットにして伝えた方がよい。
- 自転車用ヘルメットは、学生よりもいわゆる「ママチャリ」に乗っている中高年が着用していないと思う。この点をどうとらえて伝えていくのか。次回に生かして欲しい。

- 安全啓発は様々ある。例えば、自転車に乗りながらスマートフォンを見ている人がいるが、「ながら自転車運転」をやめるよう促す啓発放送もよい。
- 特別番組前半の BGM が大きくて、話しが聞きにくいところがあった。
- 交通安全についての全体的な話だが、オランダの地方都市で歩道と車道の区別をなくす「シェアードスペース」を実験的に行ったところ、事故が減ったという実例がある。自動車・自転車・歩行者すべてがより注意をするようになったのが理由のようだ。高崎市でも地域をしぼってこのような社会実験に取り組んでもよいと思う。

#### 番組全体について

- ラジオ高崎の放送はトークの軽妙さが大きな特徴。聞き入ってしまうような話の出来る人をゲストに呼び、トークで引き付ける番組作りを更に進めてもらいたい。
- 高崎市や高崎市議会と連携して、新しく出来た高崎市条例を紹介するのも意義深い。
- ラジオ高崎開局 25 周年記念として、高崎市長とラジオ高崎社長の対談番組を企画してみてもどうか。
- 「市長が語る。たかさきスタイル」では、富岡賢治高崎市長が身近な市政情報を分かりやすく紹介してくれるので助かる。いつも聞いている。
- 特別番組「市長が語る。私と映画」は、普段なかなか聞けない市長のプライベートな面が放送されていてとてもよかった。
- 数年前からミュージックストリームが好きでよく聞いている。以前からある番組も大切に、更にブラッシュアップしてもらいたい。
- 高崎芸術劇場の公演情報の紹介はあるが、会場設備自体も番組で紹介して欲しい。
- ラジオだけではなく、今後、新聞・高崎市広報誌・インターネットメディアなどのメディアミックスを更に考えていくべきである。

以上